

## しゃっちょうは行く!

5



### Broaden your horizons ⑤ ～さあ、視野を広げて!～

こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

4月18日に、メディセレで「次世代の薬剤師を創る会」という勉強会を実施いたしました。150人もの薬剤師の先生にご参加いただき、現場の先生方の熱意と向学心の高さを感じました。今回の勉強会は3部に分れ、1部が「プレアボイド報告」、2部が特別講演で京大副学長の西村周三先生による「薬剤師と医療経済」、3部は私の心理講座「絵画療法」という構成でした。1部のプレアボイド報告では、保険薬局薬剤師、病院薬剤師の両方で経験した症例を紹介していただきました。特に難しい症例に対しては、ご参加いただいた医師から意見をうかがい、多角的な症例検討ができました。また、発表者は1年目の薬剤師からベテランの薬剤師まで年齢層が幅広かったため、若手薬剤師にはとても勉強になったようです。

2部の「薬剤師と医療経済」では、一般的な医療費に対する考え方とは違った逆説的なお話が聞けました。わが国では、一般的に「医療費の高騰」が問題視されています。しかしながら、医療費をGDPで割った値（医療費対GDP比）をみると、他の先進国よりも圧倒的に低いことがわかります。つまり、日本は高齢化が進んでいるわりに諸外国と比較すると「医療費は決して高くはない。（むしろもう少し高くてもよい）」ということなのです。そこで、西村先生は、「高騰する医療費を削減しなければならない!」という国の洗脳に医療人は惑わされ過ぎてはいけない、とおっしゃるのです。確かにそうです。そういった正しいモノの見方をしなければ、私たち薬剤師をはじめとする医療従事者の待遇は悪くなる一方です。そしてまた西村先生は、「ものを高く売るには、付加価値をつけることだ」ともおっしゃいました。つまり、正しいモノの見方をすると同時に、付加価値のある薬剤師になることも必要ということです。その一つの方法が職能の拡大です。21世紀の薬剤師は、フィジカルアセスメント、リフィル調剤など多くの職能獲得を目指すべきでしょう。先日、日本医師会会長に就任された原中先生とお会いする機会がございました。医療崩壊のお話が出た際、「ぜひ薬剤師もお手伝いさせていただきたい!」と申し上げました。これに対して原中先生は、「もちろん薬剤師の先生方が協力して下さるのはありがたい」と回答なさいました。しかし、そのためには「今以上の薬剤師教育の充実が必要」ということもおっしゃっておりました。

西村先生が今回の「次世代の薬剤師を創る会」に集まった薬剤師の数と薬剤師の向上心の高さに大変驚き、感心していらっしゃいました。これだけの向上心と熱意を持った薬剤師が現場には数多くいるのです! この向上心や向学心があれば、薬剤師は医療崩壊をくい止める防波堤に十分なり得ます。薬剤師が今まで以上に社会で必要とされるよう、皆さんと一緒にがんばっていきたいと思います。4月29日から、カンボジアの医療支援にまいります。この医療支援を通じて薬剤師のさらなる可能性を模索してきます。では、行ってきます!

Medisere (メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子